

3年ぶり！ふれあい祭りの再開が本当にうれしいです。日頃からの感謝の気持ちと共に、皆さまとお会いできるのを心より楽しみにお待ちしております。



互恵便り 第19号



おくさま感激!!
草むしり.com

第13回 庵治石 ふれあい祭り

10月22日(土) 9:00~15:30 中谷石材(株) 大川工場

創業以来100余年、命せな明日へ折りの心を...
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



「お墓参りをしましょう。」



中谷社長と友人の往復書簡

毎月発行している中谷社長の社内報『ふれあい報』が、8月末で280号になりました。社長はこの社内報の紙面を通じて、「月に一度は、ご家族そろって氏神様、お墓にお参りしましょう。」と繰り返し呼びかけています。

秋彼岸を前に、互恵便りでもお墓参りを呼び掛けている中谷社長のもとに友人から手紙が届きました。お墓を取り巻く諸事情は急速に変化していますが、当社は「墓守り」を目指して努力を続けています。皆様のお墓に関するご質問やお困りごとは、どうぞ私たち中谷石材(株)にお気軽にお寄せください。



中谷さん

毎月「互恵便り」をありがと
うございます。

中谷社長の庵治石やお墓に対する想いの深さを知っています。私自身のお墓の関心が変わりつつあります。

そんな折りの今年5月、20数年間、消息も分からず行方不明だった叔父が見つかりました。数少ない手掛かりの中、私に連絡が来たのです。病院のソーシャルワーカーさんからでした。

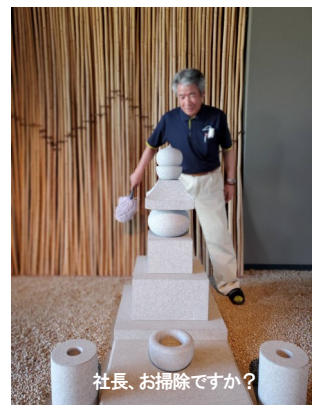
余命長くはないが、遺骨の引き取り手が見つからずいたところでした。無縁墓に入らざるを得なかったギリギリのところ、姪の私に連絡が届きました。私の父をはじめ、すでに兄弟のほとんどが亡くなっています。

若い頃からお酒で失敗をくりかえし、家族や友人、財産のすべてを無くした叔父でした。コロナ禍で面会も叶わない中の転院のタイミングに、ほんの数分だけ叔父に会うことができました。最期を看取することも叶いました。

お骨を引き取り、生まれ故郷の両親や兄弟と同じお墓に叔父を入れることができて、本当にホッとしました。きょう、いつもこの末息子を心配していた母親(私の祖母)も安心してくれていることでしょう。

叔父の遺骨の納骨を機に、中谷社長が何度も書かれていた「お墓参りをしましょう。」この言葉が、より切実に心に響いてきます。実家のお墓についてもですが、自分たちのお墓をどうするかなど、色々と考えてしまっ今日この頃です。

小山祥子



小山さん

お蔭さまで。なにより良かったですね。一緒に納骨してあげることが出来て最高の幸せと思います。これこそご先祖さまの引き合わせと思います。

日頃の精進のお導きで、お互いに目の見えない所で強く引き合うものがあつたと思います。この様なことを起こしてくれるのが「お墓」の力だと思います。「幸せのシンボル」と言える所以ではないかと思えます。

ご先祖様はお参りに来る子孫に対して守護はしても危害等を加える事は絶対ありません。

作家の藤本義一氏が少年鑑別所の慰問に訪れたとき、彼らに仏壇、お墓に手を合わせたことがあるかと尋ねたとき誰一人として手が上がらなかつたそうです。

また、ある弁護士が「やくざになつて居る人は幼少時に親の愛情が足りなかつた人たち」と言っておりました。

ご先祖様に手を合わす心根・習慣が、人を敬う心を育てて行くのではないのでしょうか。

浄土真宗では「俱会一処」(クエイツシヨ)という言葉があります。意味は、ともに一つの場所でお会いということ。一つの場所は浄土です。

真宗では、念仏の信仰に生きる人は、この世の命が終るとただちに浄土に生れるとしています。

そこで墓碑に「俱会一処」と刻むことがあります。私の知っている所では、広島県で多く見られます。

まだまだ「競争社会」が世間を取り巻いていますが、一日も早く「調和社会」になりますように。戦争、飢餓が無い社会になるよう願う毎日です。

宜しく願います。

中谷明生



我が家に遊びに来た時には、何をしてもまず、仏壇(ホトケサマ)に手を合わせてからと教えて来た孫たちとお墓参りです。



NS 「環境整備」に取り組んでいます！

当社は昭和時代は会社の成長発展を、平成時代には理念に沿った経営の実践を目標として企業改革を進めてきました。そして今、令和時代の第3期大改革計画の実施に当たり、さらなる地域密着型企业を目指して事業部の再構築も進めています。その中で、“全ての業務の原点は「環境整備」にある”との考えに基づき、どの部署においても環境整備に尽力しながら改革を進めることにチャレンジしています。



毎日仕事に使う道具だからこそ大切にしたいです。みんなで、いつもより念入りに手入れをします。

9月1日、草むしり事業部の一斉環境整備を行いました。毎月1日の朝にメンバーが集合して午前中いっぱい、リーダーが決めた箇所を実施しています。

この日は『そうじの力』の小早さんを講師に迎え、改めて、「何のために大事な時間を割いても、環境整備をするのか」ということを学びながら行いました。

私たちは環境整備の取り組みを通じて、安全で事故のない仕事、業界で一番キレイな現場、道具、車両、倉庫、それらに加えて、笑顔で元気な挨拶をして、お客様から圧倒的な信頼を得られる草むしり事業部を目指して行きます。

この方針が社員はもちろん、アルバイトの方々にも浸透するようにと願いながら、環境整備を大切に取組んでいます。

草むしりリーダー 牟礼英則

草むしり事業部 一斉環境整備



社内報大川工場 「つぶやきパレット」8月号より



以前は、たのでカマやハサミを

研磨担当 平木伸昌

お疲れ様です。
大川工場の今月の朝の環境整備は、工場展示場ヨコの水路のショウブの刈り取りと根つこの間の引きをしました。刈り取り作業は、

使いスムーズに作業が出来ました。でも、根を間引く作業は何年もして無かったせいか根の上根が生えてなかなか作業が捗りませんでした。これからは、毎年、手入れをして綺麗な花が咲くようにしたいです。

はじめまして。8月に入社しました、情報管理室の若杉楓です。

先日、初めて草むしりの環境整備に参加させていただきました。他社様の実例写真を見ながらの座学もありました。

私自身はすごく不快に思う写真でしたが、その写真をなんとも思わない方も実際にいると知り、そのため一人ではなく、全体で変わろうと意識する大切さを学びました。

実践では、入社して間もない私に先輩方はとてもやさしく指導してくださり、皆さんの楽しそうに取り組んでいる姿に惚れ惚れしました。

草むしり事業部の 一斉環境整備に参加して



私自身は、元々整理収納や掃除には力を入れているタイプです。ですから中谷石材に入社してすぐに、朝一時間の環境整備があることにはとても感動しました。

今後は多くのお客様から見られていると言う意識も念頭に置いて、毎日の環境整備を楽しく取り組んでいきます！

情報管理室 若杉楓

社内報 彫字課 「菜の花通信」Vol. 58号より

彫字課 島山晃

次回は、シヨールム西側のデッキ部分を、ペンキ塗りの下準備のやすりかけです。

字彫課の地域貢献活動、第5回目は本社シヨールム西側窓のコーキングを行いました。

隙間を埋めるためにウレタンを使用しましたが、これが思っていたより膨らんで大変でした。これで防水は万全です。



小比賀

鈴木

真部

島山



「ふれあい祭り」でお会いしましょう！

第13回 庵治石 ふれあい祭り
3年ぶりに開催！！

2022. 10. 22 (土曜日)
9:00~15:30
中谷石材(株) 大川工場

- ・ 苔玉作り体験
- ・ 石磨き体験
- ・ ブロック積み工作
- ・ 飛石作り体験
- ・ 彫刻加工体験

- ・ 大口径切削見学 (10:00、13:00)
- ・ 石割り実演 (10:30、13:30)
- ・ 墓石建立実演 (11:00、14:00)
- ・ 草むしり相談

- ・ 石窯 (焼き芋)
- ・ ポン菓子
- ・ 打ち込みうどん
- ※ピザ、餅つきは中止させていただきます
- ・ 来場記念品 (3枚セット)
- ※数に限りがございます

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
マスク着用、消毒にご協力をお願いいたします

〒761-0904 さぬき市大川町田面369-1
TEL 0879-43-3535
http://www.nakatani14.com

皆さん、こんにちは。
いよいよふれあい祭りの開催日が近づいてきました。
今回のふれあい祭りは、例年のような餅つきやピザがコロナウイルス対策のため開催できません。
その代わりに、打ち込みうどんにポン菓子、お子様から大人まで楽しめる石を使った体験コーナー、日常生活では見ることもない原石の石割りと切削、そして墓石の建立の実演と、新たに行うイベントにも注目していただきたいと思います。
傘立てやフクロウなどの小物、石あかりなども、例年通りの「ふれあい祭り特価」です。
今年から新たに、草むしりサービスの相談窓口も設置します。



北山

平井

みんなで待ってます！



ふれあい祭り総リレーダー

配送課 平井拓

大川工場 北山健太

この機会に、お困りの事はなんでもお気軽にご相談ください。
当日は検温、消毒と、コロナウイルス対策も徹底し、お客様に安心して来場していただけますよう社員一同で準備しております。
会場が皆さまとお会いできるのが今からとても楽しみです。社員一同心よりお待ちしております！



写真 大川工場 奥野武

「むれ源平 石あかりロード」も開催！

石の町・牟礼町が会場 (9/2~9/4)

こちらも3年ぶりに開催されました。個性的な「石あかり」が並ぶ沿道には、夕涼みも兼ねて待ちわびていた人がたくさん足を運んでいました。皆さん、当社のふれあい祭りにも遊びに来てくださいね。^^



今回の撮影で気が付いたことは、* 周りが薄明るいとき全体の風景が入り石あかりの雰囲気か壊れる。* 周りが真っ暗だと石あかりの輪郭、下部の雰囲気が出ない、ということです。その対応に色々工夫して、造形が映り込むようにしました。

互恵便りの表紙写真を担当している大川工場の奥野武です。
毎月悩みながらも、お客様から届く声を励みに楽しみながら撮影しています。ふれあい祭りで、皆さまとお会いできるのを楽しみにしています。
今回は依頼された石あかりロードの写真の撮りに行きましたが、なかなかの苦戦でした。
石あかりが電球色なので色が被らないように最近LEDなので被らないですが、カメラを三脚に固定して撮影したものの、拡大してみると何故か同じ方向へブレている。ブレようがないのにと、周りを見て気が付きました。沢山の人が往來している微妙な振動が30秒の間にも悪さをしているのだらうと。次はもっと良い三脚で挑戦したいと思います。





「草むしり日記」No.44

猛暑続きの夏が終わりホッとしました。秋のお彼岸前は、お墓をきれいにしてお客様のご依頼に多数お応えしました。

ご利用くださるお客様が増えていてうれしいです。ありがとうございます！



その後、9年前に高松に戻り転職。草むしり事業部には、一年前に入社されました。そのきっかけはお母さんが自宅に投函されていたチラシを大事に取っていたそう、それを見たごとうたさうです。

チラシを見て当社に入社

今月のご紹介は、地元高松市出身の林義博さん、54才です。高校卒業後に東京の専門学校へ卒業と同時にフィットネス・クラブを開業する会社に就職。北は北海道から南は沖縄まで、新店舗の設置とオープンのために全国どこへでも出張。米軍の空母内に設置したこともあったそうですよ。営業と設営と体力的にもキツイ仕事でしたがとても面白く働いたそうです。



持ち込みの軽自動車を自前で用意した林さん。この仕事を長く続けようとの決意を感じます。

新リーダー 林 義博

職業訓練校に入り造園の研修も受けていたという林さんに、草むしり事業部の新リーダーになってからの感想を聞いてみました。

「草むしりは楽しいですよ。剪定も楽しい。仕上がったときもうれしいのですが、キレイになっていくプロセスが楽しいですね。」という返事が返ってきました。

「草むしりは簡単なようでも、難しさを感じることも多いです。キレイにしたと思っても、見直すと気になるところがけっこうある。それでもキレイにしますが、そこをあとから見直すと、やっぱり気になるところがあります。先輩の仕事を見ると、さすがに違うなあ、と感心させられます。」

パートさんの担当仕事を褒められるとうれしい

林さんのお話は続きます。

「仕上がりについても、自分ではいつもこれでもいいのだろうかと思うんです。けれど、そんな時にお客様がきれいになりましたね、と喜んでくれたときなどは、ひと際うれしいです。特に、パートさんの担当した仕事を褒めてもらったときなどは、すごくうれしいですね。」

お酒は飲まず、読書や「土の城」を見て歩くのが趣味で、「私は一人が長いんです。」と、静かな優しい口調でインタビューに答えてくれました。

「私は何度か転職したのですが、こは転職して良かったと思えた職場です。まだまだ失敗もありますが、メンバー全員のカガと事故に注意して、これからもっと良い仕事をしたいたいと思っています。」

課題が多く克服が必要でも、やりがいがあるってとにかく毎日が楽しいです

上手くないことが多いと、全然ダメなんですとの自己評価でしたが、今はとにかく毎日が楽しいです。キツかったけど、面白く働いていたというかつての仕事と共通点があるのでしょうか。

暑さが苦手だったり、体力的にどうしても無理だったりなど、参加してみたけどこの仕事は合わなかったという方もいます。でも、合う合わないはやってみないとわからない。もし、この仕事をやってみようかと迷っている方がいたら、まずは試してみませんか？と、現在、新リーダーとしてチームを担っている林さんからの誘いです。



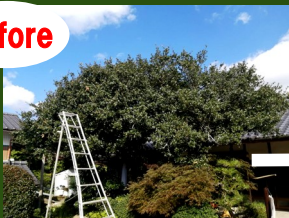
林さん。今の繁忙期が終わったら、お好きなお城の探訪をして、この夏の疲れを癒やして下さいね。

草むしり.com 高松

フリーダイヤル ☎ 0120-148-144

互惠便りを読んで・・・と、新しいお客様からも嬉しいご依頼をいただきました！

Before



After



Before



After



今月の社長のコラム

お蔭さまで。

ようやく暑い夏も終わり過ぎ、しやすくなってきました。みなさん体調はいかがですか？

嬉しい、ふれあい祭り再開です

第13回の「ふれあい祭り」を開催します。コロナ禍により、ここ2年連続して開催を中止しましたので、3年ぶりの開催となります。

ふれあい祭りは平成21年に始まりました。大川工場のある地域のみなさんに来ていただき、そこで直(じか)に石に触れてもらって庵治石のすばらしさを実感していただきたいというのが、このお祭りを始めた理由です。地域のみなさんと交流を持ちたい、という気持ちもありました。最初のころは工場の周辺地域に、呼びかけのチラシを手配していました。

密になるのを避けながら、今回も、子供たちの体験コーナーを用意しました。石に親しんでもらえるように工夫をし



例年、焼きいもは半分は切ったドラム缶で焼いていました。今年はピザ釜で焼くとのこと。いずれにせよ、この持ち場は暑いですが、頑張りますよ～。(^^)

て、石に子供たちが大好きな色塗りをしてもらいます。完成した石の板はそれぞれに持ち帰っていただきますが、これが毎回とても人気です。

何度もお伝えしていますが、私はお墓は「幸せのシンボル」と考えています。お墓に親しんでもらいたいとも思っているのですが、さすがにお墓でふれあい祭りとは参りません。ですが、当社大川工場での年に一度のこのお祭りでは、ぜひ、石に親しんでいただけたらと思います。

今年、ポン菓子が出店しますよ。打ち込みうどんも用意しました。そして焼き芋は、私の担当部署です。このポジションはずっと社長の私が担当していますので、他の者に譲るわけにはいきません。私におまかせください。(笑)

中小企業は、会社がある地域のみなさんに愛されてこそ、その価値があると私は考えます。神社のお掃除も、ささやかな地域活動のひとつです。どんなに儲かったとしても地域から疎(うと)んじられるのでは、その会社に将来はありません。

焼き芋をご用意しながら

と、カタい話はこれくらいにしまして、ふれあい祭り当日は皆さんで、ぜひお越しただければと思います。

当日、会場でお目にかかるのを楽しみにしています。私は焼き芋をご用意しながら、皆様をお待ちしています。

有難うございます。

社長 中谷明生

社内報 大川工場

「つぶやきパレット」8月号より

まだまだ暑い日々が続いていますがいかががお過ごしでしょうか？私は暑さに負けて自転車通勤や休日の散歩を休んでいます…：彼岸頃から再開予定？あくまでも予定です！

庵治石の新墓製作が減少している事を実感している日々の中、数年前に庵治石のお墓で一般墓の三分とというという特別に大きなお墓の製作に係わった事をつぶやいた事があるのですが、今回は関東方面のお墓で一枚の石の大きい物件を製作する機会が有りました！四十数年庵治石を切削した中でも初めて！



幅53寸 奥行37寸の一枚石 (160cm) (110cm)

一度に切削出来ない石写真①を上下ひっくり返して製作しました！これだけ大きい石が取れる丁場は数少ないと思いがながらの製作でした！取り直し三回目にしてできたのが写真②です！庵治石の製作に携わる中で特に印象に残る物件でした！庵治石の丁場を見てみると東西南北にキズが走っている中からこれだけの石が取れる丁場は凄いなと思う次第です。



皆様も工場・丁場見学を経験して頂き、墓石材材以外の石の魅力を再発見してみてください。

切削担当 富田博重



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…



中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松

フリーダイヤル 0120-148-144